

「親の育ち」家庭教育研修会アンケート集計

研修会実施日	10月	26日
人数	11人	

1 本日の研修の満足度について

①満足	②やや満足	③普通	④やや不満	⑤不満
8	2	1		

①の理由

- ・親が自分の気持ちを見つめる子ことができるように気持ちの交換とかふれ愛をさせてもらったので。
- ・自分を見つめる良い機会となりました。いままで気づかなかった発見があったから。わかりやすく丁寧に教えていただきました。
- ・テーマについていろいろなお話しはもちろんです、体操をしたリグループわけをしたり、参加者同士がリラックスして話しやすい雰囲気があったのがとても素敵だなと思いました。

②の理由

諸外国との比較は必ずしも意味がないかも。これが日本人の美德ととらえてもよいのでは。時間があればもっとお話を聞きたかったです。

③の理由

自分のよいところや体験を話すのは苦痛だった。

2 研修会を振り返って、気づいたこと、糸口はあったか。

- ・本当はほめることをたくさんして育てたいと思っているのに、ついイライラして感情的に怒るのが多くなってしまい日々反省します。あらためてほめて楽しく子ども達と過ごしていきたいと思います。
- ・自分の気持ちを見つめることの大切さを思いました。
- ・子どものことを感情的に怒ってばかりでした。叱ると怒るは違うことがわかりました。早速こころがけ、子どものちょっとした行動でもほめてあげようと思います。
- ・「共感してほめる」というほめかたがあることに気づきました。
- ・もっと子どもを抱きしめてあげようと思いました。
- ・子どもが安心して過ごせる家庭を作っていきたいと思いました。
- ・いかに普段子どもの悪いところばかりに目がいつているかということに気づきました。
- ・叱る時は、感情をぶつけるのではなく、ただしい行為を伝えるということ。
- ・自分がほめられたことは意外なほど覚えていないことに気づきました。
- ・「ほめ方・叱り方」を一方的に講義してもらうよりも、自分が「ほめられたこと」を振りかえらされることから、自分の子どもは同じ質問をされたら
なんて答えるかな、私って子どもをほめているかな・・・と気づかされました。
- ・心から子どもをほめると伝わるのだなと思った。叱る理由を言うということ。